

川島八幡団地の  
街並みデザインについて

鈴木造園研究所長 鈴木昌道

歴史を通じて都市の人口は、つねに増加の一途をたどってきた。その都市化現象の中での生活環境からは自然が後退しつつあるのは、洋の東西を問わず同じであった。

今、我が国の都市の自然をヨーロッパの国々と比較してみると、一八〇〇年代頃までは我が国の方が自然が豊かであったといえるだろう。少くとも都市の内部においてはそうであった。だがヨーロッパでは自然の回復に意を注いだのに反し、逆に我が国では明治以後急速に自然を食いつぶしてきた結果、緑の量においては低位に成り下ってしまった。

こうした現象に反省の目を向け、緑の回復に留意する時期にさしかかったように思われる。

それは必ずしも広い緑地だけの問題ではない。住宅の建ち並ぶ市街にしても同様である。

川島八幡団地は附近を流れる河水とそれに伴う緑地が自然の豊かさを見せてくれていて、恵まれた環境にあるが、それは外部であって、決して内部が豊かなわけではない。眺められる緑だけではなく、身辺に感じられる緑も必要である。囲まれたプライベートな庭で緑を楽しむのもひとつだが、街並みを緑によって統一することは街並みの美観と同時に住民相互の共通したコミュニケーションの場としても大きな役割を果たすと思われる。

川島八幡団地の街並みに関するデザインは、以上のような基本的なデザインポリシーに基づいて、緑の街並みを構成することを計画した。

同じ緑によるデザインにしても、色々な方法が考えられるが、基本的には三通りある。道路に面して開放的な案と閉鎖的な案、そしてその中間的な案とである。

開放的な案の利点は全体が広く感じられるが、敷地面積の

点からはプライバシーが失われがちである。一方各住戸が各社それぞれに特色を出した違ったデザインであるため、開放的にすると統一感が失われ、美感がそなわれるおそれがある。このことは中間的な案についても言える。したがって川島八幡A団地においては、緑の量を多くすると同時に統一感を強める方法として閉鎖的案で計画した。

閉鎖的で統一感を保つだけなら他に多くの素材が求められるが、緑豊かな街並みとするために生垣を造成した。これによってカーポートと玄関ポーチ以外の道路側は総て生垣によって取り囲んでいる。

生垣の他に外部を構成する素材として煉瓦を使った。その理由は、色彩的に緑色に対して赤煉瓦の色を意識し、また道路や側溝などのコンクリートの色と明確に区別するためと、玄関廻りやカーポートなどの細かい納まりなどの施工上の問題などが主であった。

生垣の内側に植えた高木は、種類を統一することによって並木の効果と、庇、窓、玄関などの不揃いな感じを消すのと、もちろん緑の量を立体的にふやすためであった。

街並みが一応完成した現在、頭初のデザイン目的は達したと思っている。

生垣の効果、その高さとか土溜めと玄関、カーポートの床の煉瓦、あるいは南側に列植したケヤキの株立の並木など、いずれも成功していると考えている。

だが反省すべき点や、今後の計画に際して改善すべき点も指摘しておかねばならない。

まず機能的な面で具合の悪いのが、前面道路とカーポートとの取付けの勾配で、柵の高さから急になり過ぎた事があげ

られる。計画前にすでに柵が設置されているためで本来なら順序が逆でなければならぬ。柵の位置は舗装部分から外すのが望ましい。

次に道路境界から住宅の壁面までを2mに統一したが、それでも距離が狭く、植栽が思う様に出来ない点があるが、これは全体の敷地面積からすれば止むを得ないことだろう。狭いために高木の落葉が雨樋に入るのが気にかかる。

直接住宅に関する事項としては、玄関の扉の開き勝手やスクリーンの位置と敷地に対する配置とが不都合な場所とか、北入りの玄関の住宅では、台所や便所、浴室などの水廻りが同時に北側に設けられるプランが多く、窓や外部に取付けられる設備機具などを含めたエレベーションのデザインが盲く行なわれていない点など、今後改善する必要がある。

南入りの住宅ではそうした問題は少ないが、アプローチが長くなるために、表札などが道路から離れすぎてしまう欠点がある。できればもう少し予算を増して表札、郵便受け、門灯などを組込んだ、統一したユニットを道路に面して設置することが好ましい。

その他、次の問題は基本的事項になるが、類似したデザインの住宅を一本の通りに面して建てることで、北側玄関の場合は特にそうである。それによって今回とは違った案が可能になる。

最後に街並みを形成する上で最も重要なことに触れておく必要がある。美しい街並みをデザインするためには街路の構成から始めなければならない点である。人と車の動線の分離、道路のヴェイスター、交差点の処理、モールなど様々な手法がある。これからの問題は今後さらに美しい良好な環境を生み出す上での課題である。